

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社アズミ村田製作所							
代表者名	氏名	水野 健一		役職名	取締役社長			
主たる事務所の所在地	安曇野市豊科高家1020							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業						
主たる事業の概要	電子部品製造							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	6284	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO <sub>2</sub>	自動車の台数	0	台

### 2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

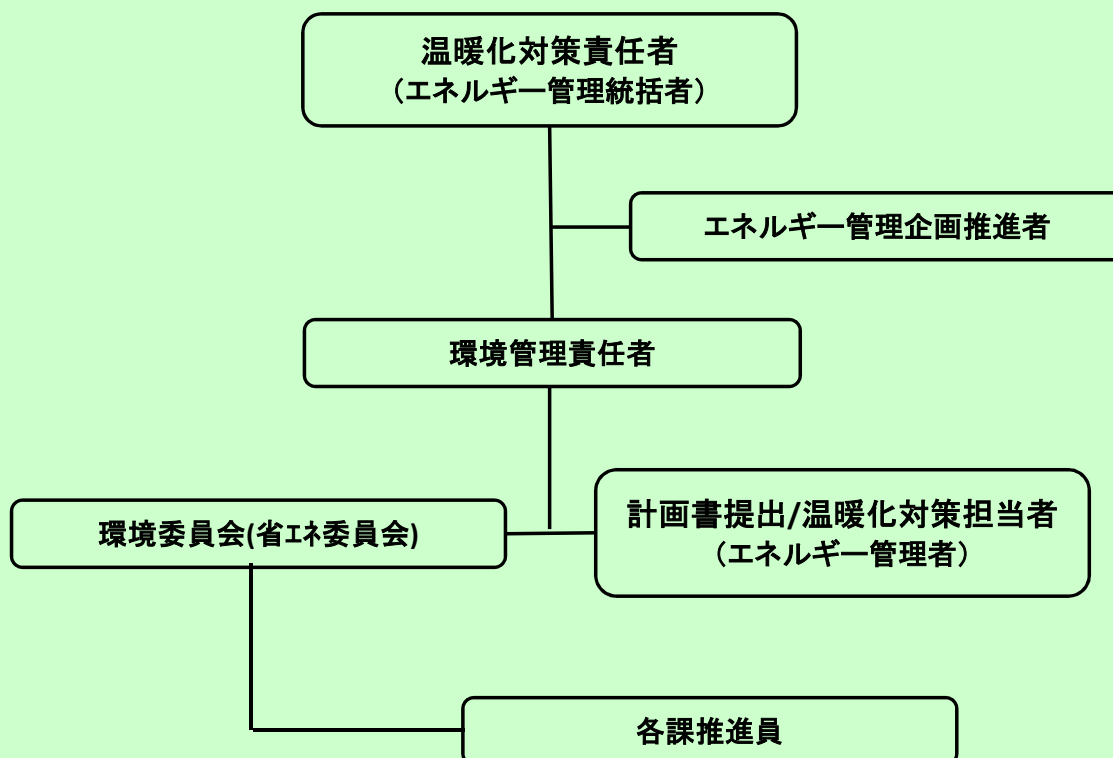
### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	閲覧可能な場所 : アズミ村田製作所 打合せロビー 時間 : 8:30～17:00 担当部署及び連絡先 : 事務課/受付で担当者へ連絡
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

・村田製作所グループの温暖化防止方針に基づきアズミ村田製作所の環境目標を定め、進捗管理を行う。

#### 5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	13,469	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	19.32	単位	G個	
25年度	調整後排出量	9,835	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	697	t-CO <sub>2</sub> /	G個	
目標年度	目標排出量	11,449	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	593	t-CO <sub>2</sub> /	G個	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	目標削減率	15.00	%	目標削減率	15.00	%		
目標設定に関する説明	<p>・村田製作所グループの温暖化防止方針に基づき、24年～26年度までの3カ年で23年度比15%の削減目標(品種別原単位)を達成するとともに、ピークカットの取組を進めていく。</p>							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	12,333	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	18.40	単位	G個	
	調整後排出量	12,239	t-CO <sub>2</sub>	原単位	670.31	t-CO <sub>2</sub> /	G個	寄与度の合計から求めた目標削減率※
26年度	削減率	8.43	%	削減率	3.84	%		
排出量等の増減理由	生産数量の減少に伴いエネルギー使用の絶対量も削減された。原単位はエネルギー削減施策の計画的な実施により削減できた。							
第二年度	排出量	11,583	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	15.05	単位	G個	
	調整後排出量	11,517	t-CO <sub>2</sub>	原単位	769.74	t-CO <sub>2</sub> /	G個	寄与度の合計から求めた目標削減率※
27年度	削減率	14.00	%	削減率	(10.42)	%		
排出量等の増減理由	平成27年12月～3月まで新商品立上に伴う、生産設備増設や試作流動に伴い生産に寄与しない電力消費が発生したため、原単位が悪化した。							
第三年度	排出量	13,053	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	16.78	単位	G個	
	調整後排出量	12,954	t-CO <sub>2</sub>	原単位	777.89	t-CO <sub>2</sub> /	G個	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	削減率	3.08	%	削減率	(11.59)	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	平成28年4月から5月までは、新商品用の生産設備増設と立上げ、および試作により原単位を悪化させた。また、平成28年11月からも新たな開発ライン増設により生産に寄与しない電力消費が発生し原単位を悪化させた。							

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
25年度	調整後排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	寄与度の合計から求めた目標削減率※
年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	調整後排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	寄与度の合計から求めた目標削減率※
26年度	削減率		%	削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	調整後排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	寄与度の合計から求めた目標削減率※
27年度	削減率		%	削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	調整後排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	削減率		%	削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
26年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
27年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
28年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	310400エネルギー使用量の管理	26~28	10	28	10
2	エネ起	320202加熱、熱処理等工業炉の効率管理	26~28	200	26~28	506
3	エネ起	330202空気調和設備の効率管理	26~28	200	27~28	192
4	エネ起	330203クリーンルームの空気調和管理	26~28	200	26~28	159
5	エネ起	360703コンプレッサーの運転管理	26~28	200	26~27	63
6	エネ起	380752LEDの導入	26~28	10	28	120
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
予定無し						

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	3,634		94	66	99
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	13,469	1	12,333	1	11,583	1	13,053
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	13,469	1	12,333	1	11,583	1	13,053

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計				
自動車総数	0	0	0	0
次世代車導入割合				

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	なし
その他	なし

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	マイカー通勤率 801% (H29年3月末実績)
公共交通機関の利用促進	出張者には、公共交通機関の利用を促している
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	関係会社との連携により空荷を最小限にする物流管理システムを構築している。

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001 (JACO) 認証取得	1999年
2	ISO14001/2004の認証維持	2006年
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>安曇野市の各小学校で環境出前授業</li> <li>ムラタの森保全活動</li> <li>環境に配慮した製品の購入 等</li> </ul>
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>信州省エネパトロール隊による省エネ診断実施</li> <li>安曇野市のアルプス花街道への参加 ・ムラタの森保全活動</li> <li>環境に配慮した製品の購入 等</li> </ul>
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>安曇野市のアルプス花街道への参加 ・ムラタの森保全活動</li> <li>環境に配慮した製品の購入</li> <li>環境省「エコチューニングビジネスモデル確立事業」への参加協力</li> </ul>
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>安曇野市のアルプス花街道への参加 ・ムラタの森保全活動</li> <li>工場緑化推進全国大会への申請と日本緑化センター会長賞の受賞</li> <li>環境に配慮した製品の購入</li> </ul>

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量 (tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>NEDOの補助金活用による省エネ施策実施</li> <li>外調機更新</li> <li>冷凍機運転方法の変更 等</li> </ul>	2,000
その他		